



なお知らせ!

みみの記念日 3月3日耳の日 6月6日補聴器の日 9月9日人工内耳の日 9月23日手話言語の国際デー

障害者差別解消法 施行から5年目

未だ、聴覚障害者目線は意識されず

各種 GoTo もの、プレミアム商品券

~~FAX~~ FAX 番号表示なし

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う地域経済の復活に向けて、国・県・市町で各種の割引やプレミアム商品券が GoTo~などの名称で発行されています。

佐賀市プレミアム付き商品券を例にとると、

- ① ホームページやチラシの購入申込ハガキに必要事項を記入して申し込む。
- ② 当選者には郵送により当選通知と商品引換券が送られてくる。
- ③ 佐賀市の郵便局等の窓口で商品引換券を提示し、購入代金を支払うと商品券が渡される。

という仕組みになっています。



予算の枠内で終了し、今後もあるかどうかは未定だそうです。地域によっては結構高い競争率になっています。

いずれの場合も質問等問い合わせは、コールセンターの電話や LINE によるものがほとんどで、FAX が併設されているのは稀になっています。聴覚障害者は、電話はかけられません。スマホを所有していない(ネットや LINE ができない)高齢者もたくさんいます。FAX 番号を記載してください。改善を要望します。

なお、佐賀県内の Go To Eat キャンペーンについては、当センターからの要望に早速対応していただきました。

ここは、 改善されましたキャンペーンホームページ掲載

食事券の利用者・購入者向け

Go To Eat利用者コールセンター

☎ 0952-20-0722

☎ 0952-20-0950

【営業時間】 10:00~17:00 【休日】 年末年始・土日祝



「ひがさす」東よか干潟

シアターや守り人のメッセージは音声情報のみ

10月20日にオープンした「ひがさす」東よか干潟ビジターセンターはラムサール条約湿地東よか干潟や佐賀平野を一望できる地上3mのパノラマ展望台や、映像、ジオラマ、プロジェクションマップ等で干潟の価値、魅力を体感できる施設になっています。



特に「ひがたのシアター」は数千羽の野鳥の群れ、泥干潟特有の生き物や四季の映像は迫力があります。また、これまで干潟を守り、シチメンソウを育ててきた「干潟の守り人」の映像も興味深いものです。



【写真】上 ひがたシアター、下 干潟の守り人

しかしながら、ナレーション、メッセージは音声のみで、聴覚障害者には話が聞こえず、あるいは聞きづらかったりして情報はとれません。

手話通訳者を配置され、説明板も照度・文字の大きさ等は配慮されていますが、大変残念です。

佐賀市の公共施設では、世界遺産三重津海軍所跡の VR スコープ、バルーンミュージアムのシアターも字幕の後付けで改善された経緯があります。ただ所管する課が違うことから聴覚障害者目線の継承、共有はされていません。

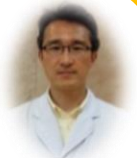


行政機関の障害者に対する合理的配慮は義務になっています。早急な改善を要望します。

【写真】ひがたのパノラマ展望台：写真はどれもパンフレットから

↑指文字は「どうして いつも きこえない わたしたちのことを いしきしないの」と読みます。

山口相談医のひと言コメント



耳と鼻と聞こえ方 その1

急性難聴について その3

耳 鼻、目、のどはつながっていると聞かれたことがあると思います。その通りで、これらは物理的に、ある種の管でつながりがあります。

鼻 の一番奥は上咽頭と言います。ここに耳管という、耳とつながりのある管が開口しています。普段は閉じているのですが、嚥下したり、あくびをしたりするとここが開きます。耳管は耳の中耳＝鼓室につながっており、耳管が開くことで、周囲の大気圧に鼓室内の気圧を揃えることとなります。

な ぜこのような機構があるかと言いますと、周囲の気圧と鼓室内の気圧に差があると、鼓膜が押される形になってしまい、うまく振動できなくなってしまう、聞こえにくくなったり、耳が塞がった様な不快感を引き起こすからです。

山 に登ったときに、耳が詰まったようになって、唾を飲み込むと「パツ」とひらけたようになる、という経験をしたことがないでしょうか？登るにつれて周囲の気圧が低下していくので、鼓室内部は相対的に気圧が高くなります。すると鼓膜は外に押され、音をうまく伝えられなくなります。時間が開くと、圧の差が解消され、違和感も改善されます。

この耳管の働きとの関わりで、聴力に問題を生じることがあります。次回少し詳しく述べたいと思います。

聴こえのセミナー開催

11月1日 参加者20名

「よりよい聞こえとコミュニケーションの生活用具」について。青木自立コム代表取締役から、最近の音声認識についての新しい技術、会話が理解できない・顔が見えない電話は使えない・TVの会話が聞こえない等についての自立コムで開発した製品の説明がありました。

個別相談では、大学での授業ではどの程度の広さまで有効か、人工内耳装置が無理な高齢者への文字による情報の方法について等、多くの熱心な相談がありました。【右絵】テレホンテキスト：受話器にセットし、スマホに接続する。



音声認識によって電話の声を文字化するもの。



佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目 1-12 (佐賀商工ビル4階)
 TEL: 0952-40-7700 FAX: 0952-40-7705
 メールアドレス: info@saga-mimisapo.jp
 ホームページアドレス: http://saga-mimisapo.jp/

<開館時間>

9:30 ~ 18:00

<閉館日>

毎週月曜日、祝日



要約筆記者養成講座 修了

(パソコンコース)



6月3日から始まった講座が10月28日で2名修了しました。

新型コロナウイルスの影響が心配されましたが、WEB講座の可能性もあると募集し、応募された方々です。受講も不安があったのではないのでしょうか。お仕事の都合で規定受講数に達しなかった方も小城講座で補講を受け修了する予定です。学習を続け、資格取得、派遣活動へとつながってほしいです。

原子力防災訓練 (11月7日)

コロナウイルス禍、感染症防止を念頭に3密を避けての住民避難訓練がありました。唐津市、伊万里市のろう者手話通訳者あわせて19名(唐津10名、伊万里9名)が参加しました。集合場所、バスでの移動時、避難所等で過密対策等が講じられていました。



聴覚障害者日曜教室

～ろう者向け(手話通訳あり)～

●11月15日(日) 10時～12時

佐賀商工ビル4階

「今年のサガン鳥栖」について

講師：谷口 大輔 氏 (佐賀新聞多久・小城支局長)

●12月6日(日) 10時～12時

唐津市民会館 中会議室

「UFOや宇宙人は存在するか」について

講師：渡辺 勝巳 氏 (佐賀県立宇宙科学館長)

～難聴者向け(要約筆記あり)～

●11月22日(日) 13時～15時

市民活動プラザ 会議室 BC (商工ビル7階)

鍋島侍としての生き方を説く「葉隠」

講師：藤井 祐介 氏 (佐賀城本丸歴史館 学芸員)

障害者手帳所持者が利用できる日常生活用具の給付(自己負担1割)は、新しい製品は対象としないと断られるケースがある。生活や仕事で絶対に必要・有効であることを訴え、何度も・何人でも要求することで対象として取り上げられるようになるとアドバイスされた。